

留学体験作文

お茶の水女子大学

文教育学部グローバル学環

2590070 リーシンウ

この半年間の留学生活を通じて、私は数えきれないほど大切な人々や出来事に会うことができました。

学業面では、留学生向けの授業がすごくためになりました。単なる文法や単語の復習だけでなく、漢字や語彙がととも増えたと感じています。特に、類義語のニュアンスの違いや、日本の日常生活で実際に使われる生きた表現を学べたことは大きな収穫でした。これらの学びを通じて、今後はより正確で柔軟な日本語表現ができるようになるかと確信しています。

また、普通の授業以上に私を成長させてくれたのは、**ディスカッションや発表**が多い授業でした。資料探しから準備まで、すべて日本語で意見を出し合うのは大変でしたが、一番やりがいを感じる経験でした。私の話を粘り強く聞いて、支えてくれた仲間には感謝しかありません。みんなのおかげで、今学期のレポートをすべて無事に完成させることができました。

学業以外でも、素敵な友達がたくさんできました。全員とゆっくり話す時間はなかったかもしれませんが、先生方が授業で交流の機会を作ってくくださったおかげで、多くの仲間と仲良くなれました。また、休日はいろいろな場所へ行きました。日本の多様な街並みを自分の目で見て、友人と初めての旅行も経験しました。そこで周りの人の優しさや、共に頑張る仲間の姿に触れ、ここに来て本当に良かったと心から思っています。

日本という国で、世界中から集まった人々と出会い、友人になれたことは、今振り返っても不思議な縁だと感じています。帰国後、会える機会は減るかもしれませんが、皆がそれぞれの場所で幸せに過ごせるよう願っています。またいつかどこかで再会できる日を、楽しみにしています。

大学生活の最後に、勇気を出して交換留学に応募し、無事に修了できることを誇りに思います。今日まで努力し続けてきた自分自身、熱心にご指導くださったお茶の水女子大学の先生方、そして遠くから支えてくれた家族や友人に、心から感謝いたします。この留学生活は、一生忘れることのない大切な記憶と

なり、これからの人生を支える大きな力となるはずと思います。

